

里山倶楽部自然農場日記6月号 NO89

農場は夏野菜の播種、定植が大方終わりました。あと大きな作業はオクラの定植、さつまいもの定植、玉ねぎの収穫等です。そして今年もいよいよお米作りがスタートします。去年は育苗で大失敗しました。その嫌な思いがまだ脳裏に焼き付いています。2年連続の失敗は許されません。5月7日のスモールファーム自給塾で塾生が丹精込めてまいたお米。今年は今のところ順調で5センチくらいの苗に成長しています。7月2日の第3回スモールファーム自給塾で田植えが予定されています。それまで大事に大事に育てていかねばなりません。今年も除草剤を使わないお米作りのスタートです。どんなドラマが待っているのかな？毎年、毎年お米作りには何かのドラマがあります。そしていつもこの季節になると言ってますが、お米作りは野菜と違って何とも言えない感慨深いものがあります。きっとお米作りは「神事」なのでしょう。

ドラマといえば、久しぶりに大豊作の野菜が出現しました。5月の自然農場の主力の野菜は「豆類」です。絹サヤエンドウ、スナップエンドウ、実エンドウ、そして空豆。お豆さんの4兄弟です。そのうちの絹さやが採っても採っても実がついたんです。普通4兄弟のうち、絹サヤが一番早く収穫が始まり、順番にスナップ、エンドウ、と収穫が続き、一番早く収穫が終わるのが絹サヤです。そしてそれぞれの豆の寿命は2週間くらいと短命です。去年の11月に種をまいて、ネットをはって、草の管理をして…半年の苦労もたった2週間で終わってしまうのです。ところが今年の絹サヤは一番早く収穫が始まって、まだ今日(5月19日)も収穫ができるんです。他のお豆さんたちはとっくに枯れてしまいました。時々そんなことが起こるんですね。でもなぜ絹サヤだけが…分かりません。

EM自然農法には「限界突破」という言葉があります。常識外の収穫ができることを「限界突破」と言ってます。これからも微生物の無限の力を信じて「限界突破」を目指していきます。でも今年のセット野菜のお客様は「またマメか〜」とうんざりしたかもしれませんね。でも1年に1回だけの季節の野菜です。お許しを！！

お客様の声

今年初めての筍でした。筍ごはんにして家族で春の味覚を味わいました。

(Hさま)

おいしい春の味覚をありがとうございました。タケノコを木の芽あえにして食べました。木の芽の香りがとても良かったです。

(Aさま)

よもぎたくさんありがとうございました。洗ってる時は春の野にいるような気がし、湯がくとよもぎのおいがいっぱいで、とても幸せでした。さあ、どんなお団子ができるか楽しみ

に待ってます。幼稚園児は「だんご組」です。アハハ

(Mさま)

たけのこ、豆類、春のお野菜おいしくいただきました。特にスナップエンドウが子供のお気に入りです！

(Eさま)

いつもありがとうございます。小松菜とエビをいため煮してとってもおいしかったです。

(Kさま)

たまちゃんのつぶやき

今日はけっこうな雨・・・雨の中の収穫、発送は色々気をつけることが多いのですが、今日大変だったのは絹サヤ！！今年はぐんぐん大きくなって鈴木さんの身長をこえてしまいました。すると上の方になった実をとるために、手や首は痛くなるし、雨がそで口から入ってくるし・・・でしたが、それくらい大きくなってくれてうれしい限りです。

(5月9日記)